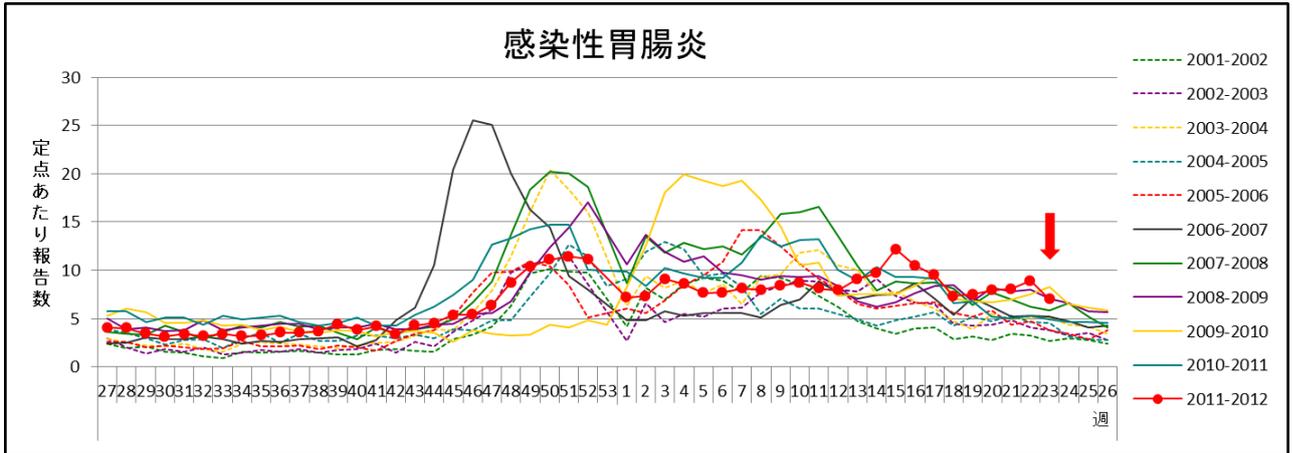


感染性胃腸炎情報 第 23 週 2012 年 6 月 4 日～6 月 10 日

- 岡山県内の患者報告数は 377 名（ 定点あたり 6.98 人 ）で、前週より減少しました。
- 過去 10 年の同時期に比べ、患者の多い状態で推移しています。



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、前週より減少しました（ 54 定点医療機関 定点あたり 8.89 → 6.98 人 ）。ほとんどの地域で患者は減少したものの、ひきつづき過去 10 年の同時期に比べ、患者の多い状態で推移しています。患者の年齢分布は、0-5 歳の低年齢層に多く、この年齢層で全体の約 67% を占めています。

梅雨から夏にかけての高温多湿になる時期は、食中毒菌による感染性胃腸炎にも注意が必要です。全国でも過去 5 年間の同時期と比較してかなり多いと報告されています。手洗いを励行するなど感染予防に努めてください。

[\(国立感染症情報センター 感染性胃腸炎過去 10 年との比較グラフ 2012 年第 21 週\)](#)

